

平成 26 年 10 月

関係者各位

和歌山 YMCA 国際福祉専門学校  
校長 井之上 芳雄

## 和歌山 YMCA 国際福祉専門学校 学校関係者評価報告について

和歌山 YMCA 国際福祉専門学校では、すべての教育内容や通常の業務において、現状を点検して、更なる改善・向上を図っていくため自己点検・評価に取り組み、「学校評価報告書」を取りまとめて、本校のホームページ上で公表致します。

去る平成 26 年 10 月に、学校に関係の深い方々を中心にご意見等をお聞きして、今後の教育活動や学校運営に反映させるべく、学校全体に係る「学校関係者評価」を実施いたしました。学校関係者評価委員会では、多くの貴重なご意見やご指導をいただき感謝申し上げます次第であります。

また改めて、学校評価の重要性を認識したところです。ここに、学校関係者評価の内容について報告いたします。今後とも、より良い教育、より良い学校運営を目指し、教職員一同努力して参る所存でありますので、引き続き一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

### － 記 －

#### 1. 「学校関係者評価」の実施方法について

今回の学校関係者評価は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に沿って実施し、本校の「自己点検・評価報告書」について、専門学校に関係の深い評価委員（委員一覧表）に評価していただいた。

各評価委員には、事前に前記の自己点検・評価報告書及び学校評価に関連する資料等を配付した上で意見等を聴取した。評価委員からの意見は、校長が承り、その内容等について要約の上、報告書として取りまとめた。

#### 2. 出席委員

	専任区分	名前	所属等
外部 関係者	卒業生	上野山 智也	介護老人保健施設 光苑 支援相談員
		松本 光生	介護老人保健施設 バインドーム 指導主任
	保護者	山本 哲司	松鶴野崎貳番館 統括部長
	企業関係者	廣谷 知秀	有限会社 河西メディカルサービス 所長
	地域支援者	土橋 哲	訪問介護タンドムケアネットワーク 代表者

#### 3. 委員会次第（概要）

- 1) 開会
- 2) 学校関係者評価委員紹介
- 3) 学校長挨拶及び、職業実践専門課程申請の準備報告
- 4) 学校長より、学校自己評価の説明
  - ①委員長の選出
  - ②学校の概要と現状
  - ③本校の取り組みと現状
  - ④意見聴取

～学校評価ガイドラインの説明を受けて委員からの意見聴取概要～

(1) 教育理念・目標

- ・これまでと変わりなく、YMCA の教育理念に基づき、ホスピタリティマインド溢れる人材養成を目指していること。そして、施設等との連携を図りながら、カリキュラムを編成している。
- ・在学中は様々な YMCA 内外のボランティアに参加した。学生時代のそうした経験は、社会に出た時に、利用者との関係作りにおいて、非常に有効と感じる。そうした人間としての成長を図る教育を大事にする YMCA の方針を、今後も継続して欲しい。
- ・卒業後すぐの学生はどこの卒業生でもやはり技術は不十分であるが、YMCA の学生は社会人としてのマナーや、実習前後の教育がしっかりしていると思う。

(2) 学校運営

- ・学校長の説明に対し、全委員が異論なく承認した。

(3) 教育活動

- ・YMCA の独自カリキュラム（音楽表現・キリスト教概論等）は、知識と教養を深める意味で有効である。これからも、学生の状況に応じて、より効果的なカリキュラムを構成してほしい。

(4) 学修成果

- ・今の厳しい教育スタイルは変えないでほしい。  
YMCA から施設実習に来る学生は質が高いという声を耳にする。教員の熱心な指導をこれからもお願いしたい。
- ・卒業生の社会的な活躍（現在の就職先等）を学校として把握しておいてほしい。

(5) 学生支援

- ・学校長の説明に対し、全委員が異論なく承認した。

(6) 教育環境

- ・学校長の説明に対し、全委員が異論なく承認した。

(7) 学生の受入れ募集

- ・2015 年度から国家試験義務化が予定されていたのが延期されたことを、県内の高校・施設等に今一度周知徹底するとともに、YMCA の教育指導の質の高さ、就職率の高さを訴えていってほしい。今は、学生数こそ少ないが少数精鋭となるよう、学生本人の「利用者の立場に立つ介護福祉士になるぞ！」という高いモチベーションとその持続、又、指導する教員の情熱ある質の高い教育をもってすれば、将来就職先の定着率等で結果が表れ、評価に繋がるものと思う。  
同時に、今後需要が見込まれる外国人学生の受け入れを積極的に行ってほしい。

(8) 財務

- ・学校長の説明に対し、全委員が異論なく承認した。

(9) 法令等の遵守

- ・学校長の説明に対し、全委員が異論なく承認した。

(10) 社会貢献地域貢献

- ・学校長の説明に対し、全委員が異論なく承認した。

その他

- ・中学校の職場体験は、介護の仕事に興味を持つ為の動機づけとしてかなり有効である。

今後更に介護の体験実習等の時間を多めに設け、将来の夢の選択肢の一つに加えられるよう努力して行ってほしい。

#### 4 . 閉 会

終わりに、校長から各委員へ貴重なご意見に対するお礼の挨拶を行い、その中でも、委員からご指摘のあった教育の位置付けや課題等、今後、本校における最大の課題・テーマとして、その改善方策を鋭意検討していきたい旨の報告があった。

以上